



大久保小だより



令和元年 7月19日 第5号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関 2 1

048 (854) 7636

男子 134名 女子 100名 計 234名

学校教育目標 **カいっぱい かしく やさしく たくましく**
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

“心にゆとり”で交通安全

校長 金子 要一

早いもので1学期も終了です。4月の始業式から約4カ月、元号も「平成」から「令和」に変わりました。まだ3カ月ほどしか経っていないのに、「令和」はすっかり定着した感があり、「平成」に懐かしさすら感じます。

1学期は、5月の記録的猛暑から一転、6月下旬から今月にかけて、雨模様の日が続きました。それに伴って気温も上がり過ぎずやさしい日々ではありましたが、子どもたちは震えながらプールに入ることもありましたが、でも、天気予報によれば梅雨明けはもうすぐです。夏休みと同時に夏本番となりそうです。

さて、夏休みを控え、先週、1、2、3、5年生を対象に、交通安全教室を行いました。1、2年生は道路歩行と飛び出しの危険性を学び、3、5年生は、自転車の安全な乗り方を学びました。4年生も、5月に自転車免許講習会を受けました。夏休みは、外出する機会が増えます。熱中症や不審者など注意しなければいけないことがたくさんありますが、**交通事故も要注意**です。

私は毎朝、正門北側の横断歩道で登校指導をしています。歩道で、子どもたちが来る方を見ている私の横を、後ろから自転車がすごいスピードですり抜けていくことがあります。その時、「すごいスピードだな。こんなに狭いのに。」とってしまいます。それなのに、自分が自転車に乗っている時は、「道路の真ん中ではなく、もう少し脇を歩いて欲しいな。」と思うこともあります。さらに、自動車を運転している時は、「自転車や歩行者の中には、交通ルールを守らない人が多いなあ。」と思うこともあります。乗る物や場面によって心のもち様が違うのです。これは、自分を中心に考えてしまうからでしょう。

交通事故を防ぐには、交通ルールを守ることはもちろんですが、心にゆとりをもつことが大切です。自分のことばかり考えず、相手に道を譲ったり、見通しの悪い所では飛び出しに備えて安全を確認するなど、焦らず心にゆとりをもち、想像力もはたらかせることが大切です。「注意一秒、けが一生」です。ほんの少しの注意を怠ったばかりに、一生苦しむこともあるし、取り返しのつかない事態になることもあります。道路で遊ばないのはもちろんのこと、交通事故に注意して安全に過ごしましょう。

そして、大久保小学校の子どもたちは夏休みを健康で楽しく過ごし、2学期は全員揃って元気にスタートできることを願っています。



バスケットボール大会の優勝をお祝いする看板を作りました。正門脇（道路から見て左側）に設置しました。ご覧ください。

